

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

<b>目指す学校像 (重点目標)</b>	自己肯定感・自己有用感を高め、学ぶ楽しさを味わわせ、確かな学力を育てることにより、児童・保護者・地域に信頼される学校 「自分が好き、友だちが好き、栄が好き」
--------------------------	---

学校名	新座市立栄小学校
実施日	令和 6年 1月 15日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	今年度は、校務分掌や教育課程の見直し、行事の精選や会議の削減、業務の効率化等の働き方改革を進めている。教職員のその結果、時間外在校時間が昨年度より平均30%以上削減されている。	A	働き方改革が進んでいる点は高く評価できる。しかし、働き方改革と並行して、指導力を中核とした教職員の資質向上の機会も確実に確保していただきたい。
学校は、児童の発達の段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。	A	一人一人にとって最適な学びができるよう、Qubenaやロイロノートを活用したり、自由進度学習を行ったりしながら、教師主体の一斉授業から主体的、対話的で深い学びの実現を目指し授業スタイルが変化しつつある。支援が必要な児童については、特別支援教育コーディネーターを中心に情報共有し、共通理解のもと指導にあっている。	A	保護者や児童のアンケート結果から授業が分かりやすいという肯定的な評価が多い。今後も引き続き一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めてほしい。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	教師が1時間の授業で何を学ばせ、どこを評価していくかを明らかにして授業を進めるとともに、子供の発言から課題を設定したり、自分の言葉で学習をまとめるなど児童一人一人が自分の学びが実感できる授業を進めている。	A	現在の取り組みを確実に継続していただきたい。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童一人一人が個性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。	A	一人一人の良さを具体的に伝えることで自己肯定感、自己有用感を高められるよう心がけている。	A	児童のアンケートで「自分のことが好きである」が2割ほど否定的な回答があるが、思春期や第二次反抗期など発達段階による影響もあるが、1人1人に向き合って指導を進めてほしい。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童が意欲的に運動に親むむような取組を行い、体力向上に努めている。	B	本校の体力向上は喫緊の課題である。体育部を中心に縄跳び週間や走り方講習会、ボール投げ講習会などを企画し児童が運動する機会を増やすよう取り組みを行っている。さらに、体育授業時での体力アップの時間を設定し継続的に運動するようにしている。	B	学区が狭く登下校で歩く習慣がない実態もあり、ぜひ低学年、中学年で身体を動かすこと、身体を使って遊ぶ習慣をつけてほしい。
学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	定期的に訓練を行うことで緊急時の対応について意識を高めるようにしている。いつ起こるかかわからない緊急事態に備えるためにも危機管理マニュアルを定期的に確認していく。	A	緊急事態はいつ発生するかかわからないので、常に訓練等を行いながら体制を整えていってほしい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域の方が教育活動を参観できる機会を設けたり、保護者や地域と連携した活動を行うなど計画的に実施している。	S	今年度は「オープン授業」と題し、授業参観以外にも気軽に子供たちの様子を見ていただける機会を多くもつことができた。保護者の方からも良い評価を受けている。	S	新型コロナによる自粛も開けて、より一層の保護者や地域と連携した活動を計画的に進めてほしい。